

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

2024年11月2日(土)・3日(日)

素晴らしき多様化する学際

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD



開催日：2024年11月2日(土)・3日(日)

時 間：11時～18時(予定)

場 所：関東学院大学横浜・関内キャンパス
テーナー記念ホール
横浜大通り公園

駅前フェスの盛り上げをはかるため、これまでの大学の取り組みから、同学祭を「沖縄フェス」に転化させ、新たなプロデュースのもと、開催する運びとなりました。題して

「関キャンfes～IT'S A CHAMPLOO WORLD

(イツ・ア・チャンプルー・ワールド)」。

キャンパスと大学に面する公園をひとまとめにゾーニングし、駅前エリア一帯を「沖縄化」させるとともに、開催地である横浜の魅力も発信し、展開いたします。学生ならではの勢いと柔らかアタマを原動力に「横浜」と「沖縄」の友好を主旨とする学祭といたしますので、是非とも、新たなる沖縄フェスとしてご注目ください。

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

開催日：2024年11月2日(土)・3日(日)

時 間：11時～18時(予定)

場 所：関東学院大学横浜・関内キャンパス
テーナー記念ホール
横浜大通り公園

①音楽コンサート（テーナー記念ホール）沖縄出身ミュージシャンと横浜で活動するミュージシャンが一堂に会した無料音楽コンサート

②沖縄物産展（大学エントランス前&B1ベーコンカフェ前大通り公園）
「チャンプルーアカデミー」
沖縄に精通する知識人招聘してのトークショウも開催。



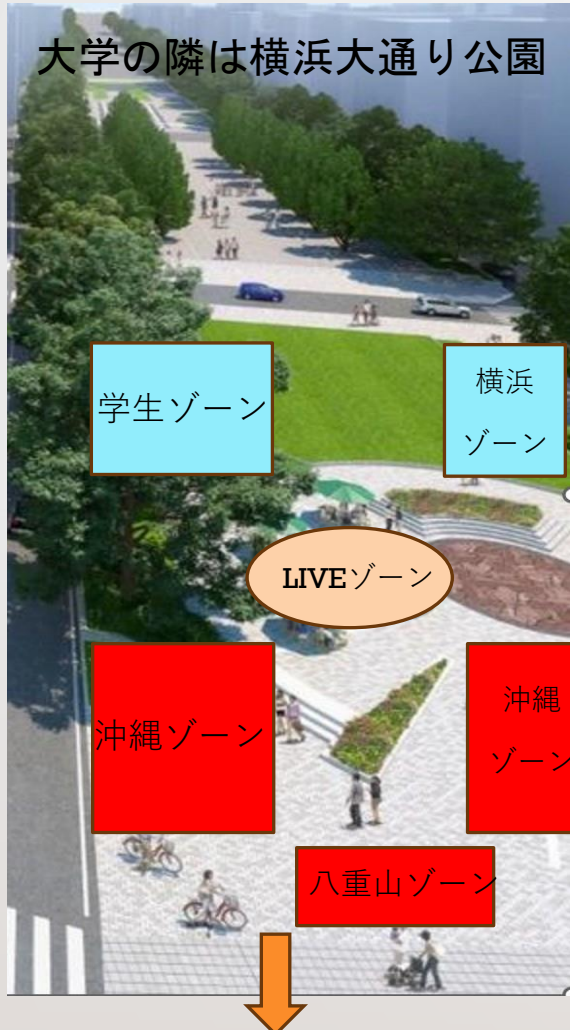
「チャンプルーライブ」
沖縄出身ミュージシャンのライブのみならず、舞台となる横浜出身ミュージシャンのライブ、沖縄×横浜ミュージシャンのコラボなど展開。

「チャンプルーアカデミー」
沖縄に精通する知識人招聘してのトークショウも開催。アカデミックな観点から「沖縄学」を「横浜学」とあわせて発信。



関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

大学の隣は横浜大通り公園



各ゾーンにわけて、ライブイベント、イベント、物産展を開催します。
今回はうるま市として物産展ゾーン（外）での出展となります。



道路を挟んで、大学の前がJR関内駅南口



関内駅南口の横浜スタジアム側

- 想定来場者数：2日間2万人
- 出展社ブースの配置
大学エントランス前と公園内テントブース

(参考データ) JR関内駅乗降客数
1日あたり平均人数11万人

2019年111,184人
2018年111,184人
2017年110,128人



JR関内駅

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

関東学院大学とは



金沢文庫キャンパス



横浜関内キャンパス



湘南小田原キャンパス

関東学院大学は、1884年に横浜山手に創設された横浜バプテスト神学校を源流にもつ11学部13学科9コース5研究科からなる、神奈川県に本拠を置く総合大学です。

約11,000名の学生が、横浜・金沢八景キャンパス、横浜・金沢文庫キャンパス、湘南・小田原キャンパスの3つのキャンパスで学んでいます。

(関東学院大学としての沖縄への取り組み)

①沖縄大学と「大学間交流協定」を締結、学生の派遣・受け入れを行う国内留学や、自治体や企業と連携しながら沖縄の魅力発信、地域振興に寄与するための学びを展開する「沖縄創生まじゅんプロジェクト」を実施。

②西原町、与那原町との「連携及び協力に関する協定」締結。

③法学部学生たち主催「KGUおきなわファミリー(沖縄県人会)」2022年8月設立。
沖縄出身の学生と沖縄ファンの学生らによる集まりで、キャンパス内でイベント実施。
2023年12月には、横浜キャンパス地下のブックカフェで、「八重山学」を学ぶ、「八重山島ぐらしカレッジ」を開講。
(主催 : 八重山ビジターズビューロー 企画 : アクションプランニング)



ウチナンチュー大会にも県人会の学生たちが参加

関東学院大学の沖縄創生まじゅんプロジェクトとは(2019年～)
内閣府「地方と東京圏の大学生対流促進事業」採択プログラム

事業概要

遠隔システムによる2大学同時開講科目、単発でも参加可能なプログラムの設置を行い、多様な学生の参加を促すことで沖縄志向を高めるとともに学生対流を促進。共生・共創という理念を同じくする2大学が地方公共団体や企業と連携し、観光資源発掘や地場産業体験型学修等の社会をフィールドとした独自プログラムを構築し、沖縄の魅力発信に寄与していく。また、地域の魅力に触れるだけでなく、沖縄式地域円卓会議等の場を通じて実際に政策提案を行うなど、講義形式にPBLを組み合わせたプログラムにより、地域が抱える課題解決に貢献できる地域リーダーを育成する。

プログラム

①地域特性特論

沖縄大学で開講される地域特性特論を金沢キャンパスに同時遠隔中継。

②沖縄学

沖縄大学が開講する「沖縄学」(近現代思想史、歴史、文化、経済、平和と人権)を系統的に学習。

③子どもの貧困対策実践プログラム

与那原町町役場、南風原町町役場と連携

④自治体職員政策形成セミナー参加プログラム

沖縄県南部広域市町村圏事務組合と連携

研修事例

2023年、学生たちに課されたテーマは脱炭素社会の構築をベースに「エシカルトラベル」を通じた旅行プランの企画提案。コロナウイルスの影響で、入域観光客数減少した沖縄県の地域復興を念頭においたプログラムとし、最終発表では学生一人ひとりが考案した観光プランを、照屋勉与那原町長や沖縄ツーリストの栩野浩執行役員などに提案。あらゆる分野における専門家から学生たちにアドバイスが贈られた。

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

(参加予定ミュージシャン)

横浜・沖縄フレンドリーシップ 紅白チャリティーコンサート

「沖縄」と「横浜」の友好をあらわすイベントとして音楽フェスティバルを開催。場所は関東学院大学の音楽ホール。内容は沖縄出身ミュージシャンと横浜で活動するミュージシャンが一堂に会し、バラエティー感ある進行で展開する音楽コンサートといたします。また、入場料のかわりに、チャリティーコンサートとして募金のお願いをして、集まった全額は関東学院大学から「沖縄子ども未来プロジェクト」に寄付させていただきます。

(司会穂積ユタカ&半田あい)



石垣優



金城綾乃
(Kiroro)



世持桜



大森隆志バンド
(サザンメドレー)



社交ダンス×エイサーのコラボレーション



横浜シスターズ



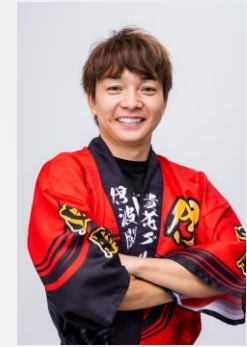
平川美香

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

「沖縄学」×「横浜学」大学側からのシンポジウム登壇者(予定)
(参加タレントは選定調整中)
横浜・沖縄友好シンポジウム チャンプルーアカデミー



小山巖也(関東学院大学学長・経営学部教授)
1967年生まれ横浜市出身。横浜国立大学院卒業。最終学歴は一橋大学院商学科研究博士。
2021年大学長に就任する。専門分野は経営学・CSR論。
学長就任前から、学内で沖縄企画を展開し、就任後は、強いリーダーシップのもと、
プロジェクトとして推進させている。



伊波大志さんも登壇予定

伊波 大志(いは たいし)は沖縄唯一の闘牛実況アナウンサーと活動し、これまで約4000試合の実況を担当。うるま市の伝統文化であり、無形文化財にも指定された闘牛をPRするため、2013年春にローカルヒーロー闘牛戦士ワイドーを発案。ワイドーの生みの親として、テレビドラマ闘牛戦士ワイドーの監修を担当している。

現在は、沖縄県内のイベントMC、リングアナウンサー、ラジオパーソナリティ、CMナレーション、琉球ゴールデンキングスホームゲームでは、B.LEAGUEの実況アナウンサーとして活躍している。



加藤彰彦(ペンネーム野本三吉)
(沖縄大学名誉教授・元学長・ノンフィクション作家)
1941年生まれ。横浜市出身。横浜国大卒業後～横浜市職員となった後、放浪の旅へ。そしてスピリチュアルな体験を経て、誘われるように返還前の沖縄をパスポート持参で訪問し、宮古島の巫女、比嘉ハツさんと運命的な出会いを果たす。比嘉氏からは「いずれ、沖縄に戻ってきて大きな仕事をするようになる」との予言を受ける。
その後、労働者に寄り添う主旨で、山谷や横浜寿町で日雇い労働者として働いたことがきっかけで寿町のフリーコンサートを手伝うようになり、沖縄の伝説的ミュージシャン喜納昌吉と交流を深める。比嘉ハツの予言通り、六十歳で沖縄に移住、沖縄大学の学長に就任。現在は再び、横浜の地に戻り、貧困に苦しむ子供支援のプロジェクトを発足させ、精力的な活動を続けている。沖縄に関する著書多数刊行。



藤木勇人
(うちなー噺家志いさー)
1961年生まれ。沖縄市出身。一人ゆんたく芝居『うちな～妄想見聞録』の縄県内・県外公演を中心に、各地での芝居公演を行っている。うちな～噺家と称し「日本の南の島に住む人々の様子」を伝えるため芝居とおしゃべり(ゆんたく)で笑いを交えながら、沖縄出身者、沖縄好きの人はもちろん沖縄を知らない人たちにも十分に理解してもらえる舞台を創っている。テレビレギュラー、沖縄昔話の語りべ、CM出演、劇団客演、映画、ドラマ・ラジオ等に出演、執筆活動も展開中。当大会ではうちなーぐちでの講談を披露するとともに、シンポジウムでは「コザ学」を展開予定。

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

①公園内ブース設置（2事業者分）

- * テントのご用意1張（5.4m×3.6m）
- * 電源100V（1.5kw）1口
- * 蛍光灯（40w）1本
- * 出展者サイン
- * 長机2台、椅子4脚

②地域創生WEB「Mediall」でのご紹介

2023年夏に誕生した、地域の魅力を発信するWEBサイトでの紹介。ご出展前とご出展後の2回にわたり、市町村としての魅力を当イベントを通じて発信する。

- * 当サイトアクセス数1日あたり約5～7万人

配置はまだ未定ですが、テント2張りをレンタルしています。1張りに2事業者入る予定です。追加備品レンタルについてはこれからの調整となります。(別予算になる可能性あり)

物産ゾーンにはほかの出展者もいますが(沖縄県その他市町村や横浜市や学生のブース等)うるま市として**観光、飲食、工芸、ブースをまとめる**ことにより、一体感をだしてPRしていく予定です。

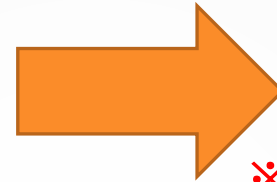
Mediall

オンリーワン・ナンバーワンをキュレーションする地方創生メディア

関キャンfes IT'S A CHAMPLOO WORLD

補助経費について

出展料について
テントレンタル・広告料（うるま市のPR）
（舞台出演、WEBメディア掲載）として
・990,000円(税込)～ 現在調整中～



事業者負担 0円

※キッチンカーやレンタル備品は別料金

補助経費は...

- ・旅費
- ・交通費
- ・宿泊費
- ・輸送費

**各事業者で必要な
経費に使用可能**



事業者に一律、出展補助費
1事業者あたり66,000円(税込)を
上限として調整していきたいと
考えています。

※出展希望の事業者は主催者と協会の選考基準により出展できない可能性もあります。

☆補助を受けるには、証票書類、報告書を指定の様式にて期日までに提出することが必須条件となります。